

【担当教員名】 川中 健太郎	対象学年	1	対象学科	健栄
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
解剖生理学Ⅱでは、解剖生理学Ⅰに引き続いて、身体の構造と機能についての基本的な知識を学習する。栄養生理的な面だけでなく、ヒトの動物的機能、つまり、ヒトが動くことができるしくみや脳における認知機能についても学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1) 排泄の仕組みを理解する。
2) 生殖の仕組みを理解する。
3) 身体の恒常性の仕組みを理解する
4) ”骨” および”筋” の構造と機能を理解する。
5) ”神経” の構造と機能を理解し、神経系によって身体の活動がどのように制御されているかについて理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	泌尿器系 腎臓の構造		講義 一部、ビデオを活用
2	体液分量・塩分量の調節		
3	生殖 生殖器の構造と機能		
4	性周期とホルモン		
5	ホルモン		
6	骨格 骨の形状と構造		
7	骨格 人体各部における骨格		
8	骨格 人体各部における骨格		
9	骨格筋 骨格筋の構造		
10	骨格筋 筋の動くメカニズム		
11	神経 活動電位		
12	神経 中枢神経系		
13	神経 末梢神経系		
14	新駅 自律神経系		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	人体の構造と機能 解剖生理学		メディカ出版	2004年 4800円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 期末試験と出席状況	【履修上の留意点】 高校時代に”化学” ”生物”を履修していない学生、または、理解が不十分な学生は補講の”化学”と”生物”を受講して学力を補強しながら授業に臨むこと。
---------------------	--